

## 小立野地区

〔距離〕約 6.5km 〔時間〕約 100分 〔坂・階段〕あり

**スタート** 下馬地蔵～①間敬寺～②善光寺坂～③笠舞の大清水～④上野八幡神社～⑤小立野小学校横～⑥鶴間坂～⑦経王寺～⑧如来寺～⑨天徳院～⑩善徳寺～⑪仰西寺～⑫馬坂～⑬宝円寺～⑭波着寺

**～ゴール** 下馬地蔵



### コース概要

兼六園からも近く、由緒ある寺院や坂道が多く風情豊かな町並みを残す地区です。台地のため坂や階段などの変化に富んでおり、場所によっては素晴らしい眺望を楽しむこともできます。

### ③笠舞の大清水

住宅地の中、善光寺坂の脇に湧き出ており、石で囲んで十畳ほどの浅い池になっている。勘太郎川の水源として農地を潤すと共に地域の方々の生活用水等として幅広く利用されてきた。夏には子どもたちの水遊び場になるなどコミュニティ空間となっている。



### ⑦経王寺

慶長6年(1601)、三代利常の生母・寿福院が養仙院日護を招いて創建した日蓮宗の寺院。後年、火災にあったが正保4年(1647)、寿福院の十七回忌にあたり利常が再建した。加賀騒動のヒロインお貞(真如院・六代吉徳の側室)の墓がある。五重石塔が有名。

### ⑨如来寺

浄土宗の寺院。前田利家に従い高岡に移った後金沢に移り、当初は卯辰山に所在。元和2年(1616)、3代藩主利常は、正室の珠姫が祖父徳川家康の位牌を祀ったことから、寛永11年(1634)に霊屋を建立し、その位牌を安置した。寛文2年(1662)に寺地を小立野台に移し、5代藩主綱紀が生母清泰院(せいたいいん:徳川光圀の姉)の位牌所としたことから、以後、徳川家の家系に属する前田家の位牌所として確立。本堂は金沢市指定文化財。境内のクロマツが市指定保存樹(樹高19m)

### ⑨天徳院

元和9年(1623)3代藩主前田利常がその室、天徳院の菩提を弔うため開山した曹洞宗寺院。元禄7年(1694)に伽藍が整ったが、明和5年(1768)に山門のみを残して焼失した。その後再建されたが現在は元禄期の面影はとどめていない。二階二重門としては石川県下で最も古い遺構。山門は石川県指定文化財。境内の林が市指定保存樹林。スギやクロマツ等の高木とサツキをはじめとする低木で構成されている。

### ⑬宝円寺

初代利家が建立した曹洞宗寺院で、開山は利家が越前府中(現越前市)時代に帰依した大透圭徐禅師。藩主一族の位牌が安置された前田家の菩提寺。墓所内には、利家の自画像と髪を納めた御影堂・御髪堂や江戸初期の画聖俵屋宗達の墓がある。本堂、庫裏、山門及び築地塀は国登録有形文化財。境内が市指定保存樹林。アカマツ・ケヤキ等で構成されている。